

## 山形大学校友会専門委員会（第22回）議事録

平成29年1月26日（木）  
10時30分～11時45分  
山形大学法人本部棟役員会議室

### （議題）

- 1 大学院学生表彰者（校友会会長賞）の決定について
- 2 平成28年度校友会事業の進捗状況について
- 3 平成29年度校友会事業について
- 4 校友会事業運営等への学生の参画について
- 5 その他
  - (1) 校友会会則第8条第2項の規定による「校友会賛助会員」への新規登録について
  - (2) 校友会設立10周年記念事業（記念講演会・記念式典・記念祝賀会）の実施報告について
  - (3) 校友会設立10周年記念「関西セミナー by 山形大学」の開催について
  - (4) 「平成28年度（第12回）山形大学OB & OGセミナーの開催について
  - (5) その他

### （出席者）

委員長：野村一芳  
委員：佐藤圓治、齋藤博行、大場好弘、竹田隆一

### （欠席者）

委員：神戸士郎、佐藤和佳子

### （列席者）

長岡エンrollment・マネジメント部長、  
大沼校友会事務局長、黒沼校友会事務局次長、田辺係員

議事に先立ち、野村委員長から挨拶があり、委員の紹介があった。

### 1 大学院学生表彰者（校友会会長賞）の決定について

委員長から本件の提案があり、大学院学生表彰の推薦状況や被表彰者の決定までの手順等について資料1-1及び参考資料3に基づき概ね次のような説明があった。

#### （内容）

- (1) 資料1-1は、関係する研究科長から推薦のあった候補者18名を一覧表としてまとめたものである。
- (2) 大学院学生に係るそれぞれの推薦資料は、整理番号1～18のとおりである。
- (3) 「大学院学生表彰に関する申し合わせ」の規定により、被表彰者は本専門委員会の議を経て最終決定される。
- (4) なお、平成28年度本事業の予算額は80万円（16名分×5万円）である。

次いで、推薦された大学院学生の研究業績等が該当する表彰基準の条項、推薦者数が事業予算を上回っていること等について事務局から説明があった。

これに対し、概ね次のような意見、要望等があった。

- 推薦される人数が想定（予算枠）を超えた場合、選考されなかった理由を明確に示す必要があり、現状のシステムではむずかしい面がある。  
 今後は、むしろ申請段階でのガイドラインをもっと明確にする必要があるのではないか。（大場委員）

- 表彰は大学院在学中に1回としているが、一人が複数回あっても構わないのではないか。(佐藤(圓)委員)
- 現行の表彰基準では、芸術系や体育系分野の大学院学生が表彰の対象になるのはむしろかしいのではないか。また、それぞれの業績が必ずしも一律でないのに、奨励金が同一になるのにはやや疑問がある。(竹田委員)
- 推薦される人数は年々増えてきており、部局間であまり片寄りが出ないように、推薦できる人数にも一定の枠を設けることを考えてはどうか。(大場委員)
- 推薦人数に上限を設定するのではなく、予算の範囲内で案分する方法もある。また、表彰の実績は、履歴書にも記載でき就職にも有利になる。(齋藤委員)
- ぜひ、文系の大学院にもがんばってもらいたい。(野村委員長)

種々審議の結果、委員長から、18名の候補者は表彰基準のいずれかに該当していると認め、今回は必要な予算措置を行い、全員を大学院学生表彰受賞者として決定したい旨提案があり、承認された。

なお、事務局から、表彰は「校友会会長賞」として資料1-2の表彰状と奨励記念品(金5万円)を贈呈することとし、表彰状授与式を2月15日開催の校友会理事会終了後に執り行う旨説明があった。

## 2 平成28年度事業の進捗状況について

委員長から本件について提案があり、事務局から、「平成28年度実施事業進捗状況一覧」、「事業実施報告書及び事業進捗状況報告書(番号1～27)」、「平成28年度収支決算見込み」について資料2及び資料3に基づき概ね次のような説明があった。(内容)

- (1) 平成28年度事業は継続23件及び新規4件の計27件で、予備費を含め事業費総予算額は25,400千円となっていた。
- (2) 資料2は各事業の進捗状況を一覧にまとめたものであるが、現時点ですでに終了した事業が4件で事業継続中が22件、未実施の事業が1件であった。
- (3) 今年度すでに終了した事業実施報告書には、自己評価による「事業実施の達成度評価」の項目が今回から新たに設定された。
- (4) 平成28年度の収支決算見込みは資料3のとおりであるが、収入は新規加入者が予定よりやや少なかったこと等により全体で55万円程の減、支出のうち事業費は、今後の支出見込みを踏まえ22,500千円程の決算が見込まれている。
- (5) ビーチサッカー等4件は、今年度で継続5年目(最終)となった事業である。なお、次年度以降も当該事業の実施を希望する場合には、新規事業として申請することになる。

引き続き、事務局から、資料2に基づき実施済みの4件を中心に事業の実施状況及び資料3に基づく収支決算見込みについて順次説明があった。

これに対し、概ね次のような意見、要望等があった。

- 「人材バンク登録事業」については、もう少し効率的な運用が求められる。実施面では、キャリア教育とタイアップすることや土・日に学生が集まらないのであれば、授業とのコラボ或いは大学祭で実施することを考えてはどうか。(大場委員)
- 全国大会等の開催場所によってはかなり交通費がかさむケースもあり、「公認サークルへの支援」は、もっと増額することを考慮してほしい。(竹田委員)

- 公認サークルへの支援を担当する小白川キャンパス事務部学生課には支給基準等の再点検も含め、当面は可能な範囲での対応策を検討してもらいたい。  
(事務局)

次いで、委員長から、本件について現時点における各事業の進捗状況及び収支決算見込みとして2月15日開催の校友会理事会に報告したい旨提案があり、了承された。

### 3 平成29年度事業について

委員長から本件について提案があり、事務局から、「平成29年度予算概要(イメージ)」、「校友会事業の検討に当たっての基本方針」及び「平成29年度校友会支援事業の申請書様式(案)」について資料4、資料5及び資料6に基づき概ね次のような説明があった。

(内容)

- (1) 平成28年度の決算見込みを踏まえた平成29年度予算概要(イメージ)は資料4のとおりである。今年度からの繰越額減に伴い645万円程の収入減となるが、事業費として例年どおり20,000千円程度を確保すれば、平成29年度の繰越額は180万円弱となる見込みである。
- (2) 平成29年度の校友会事業を検討するに当たっては、昨年2月19日開催の校友会理事会で承認された基本方針に基づいて対応することとしたい。
- (3) 平成28年度事業27件のうち、資料5別紙に記載の20件については、それらの実施状況を踏まえて平成29年度継続事業としての優位性を認めることについて本専門委員会において確認したい。
- (4) なお、前述以外の7事業については、資料5別紙(点線囲み枠内)に記載のとおり取り扱うこととしたい。
- (5) 「平成29年度山形大学校友会事業計画書」の申請様式は資料6のとおりとし、平成29年3月31日(金)を提出期限としたい。

種々審議の結果、委員長から本件について諮られた結果、次のとおり了承され、関係資料を整理の上、2月15日開催の校友会理事会へ提案することになった。

- イ 平成28年度において実施した27事業のうち、資料5別紙に掲げる20事業は平成29年度の「継続事業」としての優位性を認めるものとし、採択する金額については実績等を精査して決定する。
- ロ その他の7事業については、資料5別紙(点線囲み枠内)のとおり継続事業とはしない。
- ハ 平成29年度校友会事業計画書の申請は、平成29年3月31日(金)を提出期限として募集する。

#### ～ 平成29年度の継続事業としての優位性を認める20事業 ～

(修学・グローバル化支援関係)

- 1 大学間交流協定大学への短期派遣留学生校友会支援事業(5年目)
- 2 博士課程学生への研究発表奨励事業(5年目)
- 3 実践教育プログラム英語合宿(4年目)
- 4 校友会推薦図書コーナー「後輩に是非、こんな本を読ませたい！」(4年目)
- 5 新興国学生大使派遣プログラム(3年目)
- 6 山形美術館を活用した学生の学習支援事業(2年目)

(課外活動支援関係)

- 1 各キャンパス大学祭への支援 (5年目)
- 2 公認サークルへの支援 (5年目)
- 3 山形大学雪合戦大会 (4年目)
- 4 科学で東北盛り上げ隊への支援 (3年目)
- 5 子どものまち・いしのまき復興支援事業 (2年目)

(就職やキャリア支援関係)

- 1 学生中心に行う優良企業訪問への支援 (3年目)
- 2 首都圏就職活動時のセカンドキャンパスの整備 (3年目)
- 3 本学OB・OGから学ぶ業界・仕事研究セミナー (2年目)

(保護者、本学運営等関係)

- 1 新入生保護者の皆さまと山形大学との交流会 (5年目)

(各機関の協力を得て校友会が主体的に取り組む事業関係)

- 1 山形大学卒業生講演会 (5年目)
- 2 山形大学校友会大学院学生表彰制度 (4年目)
- 3 卒業生の「人材バンク登録事業」を活用した学生支援事業 (3年目)
- 4 校友会会員となった新入生への入会記念品の贈呈 (3年目)
- 5 若手卒業生の組織化支援 (3年目)

～優位性を認める20事業以外の7事業の取り扱い～

○平成28年度で継続事業期間が終了したもの

- 1 ビーチサッカー大会 in 庄内 (5年目)
- 2 首都圏開催合同企業説明会への参加と東京サテライト案内 (5年目)
- 3 卒業生等による学生支援体制の整備 (5年目)
- 4 オペラを核とした《附属校との協働》及び《高大連携事業》の推進 (3年計画の3年目)

○平成29年度への継続事業を希望しなかったもの

- 1 高齢化率の高い離島における継続した東日本大震災復興支援事業 (3年目)
- 2 校友会設立10周年記念事業の実施 (平成28年度で実施済)

○平成29年度への継続事業の優位性を認めないもの

- 1 山形大学駅伝大会 (2年目)

#### 4 校友会事業運営等への学生の参画について

委員長から本件について提案があり、事務局から、資料7「校友会学生幹事」の推薦について(案)に基づき概ね次のような説明があった。

(内容)

- (1) 資料7は、これまで校友会理事会や各学部同窓会、校友会及び山形大学の情報交換会において検討された内容を明文化したものである。
- (2) 推薦要領を踏まえ、校友会学生幹事2名の推薦を各学部長に依頼する文書案である。
- (3) 学生の皆さんには会員の一人として校友会運営に関わっていただき、例えば「学生活動費枠」等を設定し、学生幹事として企画段階から実施してもらいたい。
- (4) 初めての試みであるが、学生幹事は新1・2年次学生を想定している。
- (5) 学生にも校友会の活動内容を実感してもらう良い機会だと捉えている。

これに対し、概ね次のような意見、要望等があった。

- 校友会自体の存在を知らない学生も多く、任務として学生幹事には校友会の知名度を上げる PR 活動を追加してはどうか。(佐藤(圓)委員)
- 例えば、支給する謝金を 1 万円とかにし、残額は PR 活動の資金とすることも考えられる。(齋藤委員)
- 本専門委員会にも出席させ、学生の立場から自由な意見や要望を発言してもらい、卒業後においても繋がれるようにしてはどうか。(事務局)
- 学生幹事そのものの経験が人間性を成長させるのではないか。(大場委員)
- クラウドなど若者ならではのアイデアを持っており、学生は面白いアイデアを出してくれるのではないか。(大場委員)
- 校友会事業計画書の申請権を学生にも与えてはどうか。(野村委員長)

種々審議の結果、委員長から本件については本日いただいた意見等も踏まえ、資料を一部修正の上、2 月 15 日開催の校友会理事会へ提案することになった。

## 5 その他

委員長から、その他として次の 4 項目について報告したい旨発言があり、順次、事務局から説明があった。

(1) 校友会会則第 8 条第 2 項の規定による「校友会賛助会員」への新規登録について  
本件について事務局から概ね次のような説明があり、次回の校友会理事会に報告することとした。

- ① 校友会には賛助会員に関する規定があり、このたび資料 8 のとおり 6 つの団体を新規登録することとしたい。
- ② 賛助会員は、2 月 15 日開催の校友会理事会の承認を得て登録される。
- ③ 今回登録する 2 ～ 6 の 5 団体は、いずれも校友会設立 10 周年記念事業として支援した団体であり、賛助会員に登録されることを支援の条件としていた。

(2) 校友会設立 10 周年記念事業（記念講演会・記念式典・記念祝賀会）の実施報告について

本件について事務局から概ね次のような説明があり、次回の校友会理事会に報告することとした。

- ① 昨年 11 月 25 日(金)に開催した校友会設立 10 周年記念講演会、記念式典及び記念祝賀会を開催したことについて、関係者の皆さまに改めて御礼を申し上げます。
- ② 資料 9 は校友会設立 10 周年記念事業全体の概要について校友会ホームページ上で紹介した記事であり、ご覧いただきたい。

(3) 校友会設立 10 周年記念「関西セミナー by 山形大学」の開催について

本件について事務局から概ね次のような説明があり、次回の理事会に報告することとした。

- ① 本件は、校友会設立 10 周年を記念して大阪で初めて開催する「関西セミナー by 山形大学」のチラシ(資料 10)である。
- ② 来る 2 月 18 日(土)に開催する今回のセミナーは、関西地域にある各同窓会支部や山形県、関西山形県人会の支援と協力の下で実現したものである。

#### (4) 「平成28年度（第12回）山形大学OB&OGセミナーの開催について

本件について事務局から概ね次のような説明があり、次回の校友会理事会に報告することとした。

- ① 来る3月4日(土)に開催する今年度のOB & OGセミナーは資料11のとおり詳細内容が決定し、参加者の募集を開始した。
- ② 今年は、諸般の事情からこれまでの「山大東京サテライト(100人規模)」から「グランパーク(200人規模)」に会場を変更して実施することとした。
- ③ 講演の講師は、人文学部担当の中島宏先生と大学院理工学研究科担当の古川英光先生をお願いしている。

#### (5) その他

事務局から、現在の校友会理事の任期が本年3月末で満了となる旨及び次回の本専門委員会は現在の専門委員で対応いただくことになっている旨説明があった。

### 配付資料一覧

- 山形大学校友会専門委員会（第22回）次第
- 山形大学校友会専門委員会委員一覧（H29.1.26現在）

#### [資料一覧]

- 資料1-1 山形大学校友会大学院学生表彰推薦者一覧（平成28年度）  
添付資料【大学院学生表彰推薦書（写）（整理番号1から18）】
- 資料1-2 表彰状案（山形大学校友会会長賞）
- 資料2 平成28年度校友会事業の進捗状況一覧  
添付資料【平成28年度事業の実施状況又は進捗状況報告書（写）  
（番号1から27）】
- 資料3 平成28年度収支決算見込み
- 資料4 平成29年度予算概要（イメージ）
- 資料5 校友会事業の検討に当たっての基本方針
- 資料6 平成29年度校友会支援事業の申請書様式（案）
- 資料7 「校友会学生幹事」の推薦について（案）
- 資料8 「校友会賛助会員」への新規登録者名簿
- 資料9 校友会設立10周年記念事業の実施報告
- 資料10 「関西セミナー by 山形大学」の開催案内
- 資料11 「平成28年度山形大学OB & OGセミナー」の開催案内

#### [参考資料]

- 1 山形大学校友会会則
- 2 山形大学校友会専門委員会規程
- 3 山形大学大学院校友会大学院学生表彰に関する申し合わせ
- 4 校友会専門委員会第20回（H28.5.27）議事録
- 5 校友会専門委員会第21回（前回）（H28.6.24）議事録
- 6 校友会会報 No.8・設立10周年記念号